

120920 ハンミョウ

今回、紹介するのは「ハンミョウ」です。

出会ったのは、今週、金剛山「ちはや園地」の観察デッキのところでした。

ハンミョウは、体長が2cmほどで、全身が青、赤、緑色に輝く、脚の長い甲虫です。
漢字では「斑猫」と書くそうで、“斑点のある猫”という意味でしょうが、何故“猫”なのかは謎ですね…

人が近づくと飛び立ち、数m先の地面に止まりますが、また近づくと飛び立って数m先に止まる…、これをくりかえすので「道教え」とも呼ばれています。

さらにしつこく追いかけると、横道や草むらに逃げ込んでしまいますので、そこでやむなく追跡は断念…

今回は道ではなく、木製デッキ上にいましたが、かなり慎重に追跡しましたので、接写に成功しました。

鮮やかな前翅はピロウド状になっていますが、炎天下で活動できるように、太陽光を反射して体温の上昇を避ける働きがあるようです。

また、本種の幼虫は砂地でしか生きられないため、生息地は限られており、生息場所を離れることはありません。

(幼虫は、地面に縦穴を掘って住み、通りかかった他の昆虫を捕らえて食べています)

多くの方がこの虫に出会うと、その体色の美しさに見とれてしまいますが、正面から見ると、まるで“牙”のような白くて大きなアゴに驚かされます。

(4枚目の写真をご覧ください)

そして…

獲物を見つけると襲い掛かり、この鋭い大アゴで捕らえる…、その姿が“猫”のように見える、ということかも知れませんね。

ちなみに英名は「タイガービートル」です！







